

# 学級づくりの4つの心得

教師の思い

子どもとの  
絆づくり

学習・行動  
ルールづくり

居心地の良い  
教室環境整備

～ 主体的に取り組む、協働的に活動できる子どもを育てるために ～  
 教育の起点は何より『学級経営』です。学力をつけるにも、心を育てるにも、『場所』が必要です。  
 今の自分たちの学級について、振り返ってみましょう。



【教師の想い】

		チェック
①	毎日を「こういう学級・子どもにしたい」という想いを持って取り組んでいる	
②	学級や子どもの課題について、自分事として取組を振り返るようにしている	
③	子どもの目線に立って、物事を考え、実践しようとしている	
④	最後まであきらめず、根気強く子どもに関わっている	
⑤	これからの社会を生きていくために必要なことを一緒に考え、行動している	



【子どもとの絆づくり】

		チェック
①	1日1回以上は学級の子どもたち全員に声かけをしている	
②	子どもの話を「聴く」という姿勢を大切にしている	
③	個々の実態に配慮し、公正・公平な態度で接している	
④	結果より、努力した過程を具体的に評価し、家庭へ発信している	
⑤	子どもの自尊心に配慮し指導しつつ、活躍の場を常に取り入れている	



【居心地の良い教室環境整備】

		チェック
①	机の並びやロッカー、靴箱等が整理整頓されている	
②	教室や廊下にごみや不必要なものがない	
③	掲示物がしっかりと掲示され、定期的に更新や発信がされている	
④	安心して学習しやすい座席配置やグループづくりが行われている	
⑤	学習の足跡や成長が残る掲示物を作成し、公開している	



【学習・行動ルールづくり】

		チェック
①	あらゆる場面での時間を守るように指導している（時間の大切さ）	
②	時と場に応じた言葉遣いを指導している（言葉の大切さ）	
③	あいさつの大切さ、重要性について指導している	
④	「分からない」と言えること、「間違えても大丈夫」ということの大切さを教えている	
⑤	当番や係、委員会などの仕事を最後までやり遂げるよう指導している	

「主体的・対話的で深い学び」の取組の充実のための、学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント (授業観察シート)

主体的・対話的で深い学びを実現するための能力ベースの授業づくりにおいて、授業改善PDCA サイクルを効果的に回すためのシートとしてご活用ください。

【評価規準】 4…実施できており、質も深まっている 3…実施できている  
2…実施できてるが、不十分 1…実施できていない

教師の基本姿勢	1	健康・体調、安全や衛生面への配慮を十分行っている。	4 - 3 - 2 - 1
	2	明るく、落ち着いた雰囲気をつくっている	4 - 3 - 2 - 1
	3	子どもからの反応や様子に気づき、共感的に受け止めている。	4 - 3 - 2 - 1
	4	子どもの気持ちや考えに寄り添い、一緒に取組んでいる。	4 - 3 - 2 - 1
	5	名前を呼び、目を見て、存在感を持たせるようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
活動の設定 学習のねらい	6	単元や子どもの実態を踏まえ、ねらいが適切に設定されている。	4 - 3 - 2 - 1
	7	学習指導要領の指導内容に基づいたためあてになっている。	4 - 3 - 2 - 1
	8	適切な学習量や学習時間・時間配分の設定が必要である。	4 - 3 - 2 - 1
	9	学習に対する成功体験と次への期待感を持てるようにしている。	4 - 3 - 2 - 1
教材・教具等 環境設定	10	全ての子どもにとって居心地の良い学習環境が整っている。	4 - 3 - 2 - 1
	11	板書計画に基づき、分かりやすい板書や提示がされている。	4 - 3 - 2 - 1
	12	全ての子どもにとって必要な教材・教具が用意されている。	4 - 3 - 2 - 1
	13	必要に応じて、子どもの表現を支える支援資料等を用意している。	4 - 3 - 2 - 1
説明・教示・評価等	14	主体的に学べるよう、見通しや個に応じた支援をしている。	4 - 3 - 2 - 1
	15	要点を絞り、具体的かつ簡潔に分かりやすく伝えている。	4 - 3 - 2 - 1
	16	つぶやきを大切に、気づきや思考、イメージ化を促す働きかけをしている。	4 - 3 - 2 - 1
	17	T1 は全体を把握し、T2 と連携、協働して授業している。	4 - 3 - 2 - 1
	18	T2 として気になる子どもに配慮しながら T1 と連携している。	4 - 3 - 2 - 1
	19	子どもが理解しているか、納得しているか見抜いている。	4 - 3 - 2 - 1
	20	努力や成果、態度など過程を評価し、的確に認めている。	4 - 3 - 2 - 1
日常	21	学習時間を保障しつつ、開始と終了時刻を守っている。	4 - 3 - 2 - 1
	22	挨拶、言葉づかい、傾聴姿勢を教師が模範となっている。	4 - 3 - 2 - 1
コメント			

※コメントは主に【改善策】を記入する。必要に応じて項目番号も記入し、連動させる。

※各教科等、本時の授業内容等によって評価できない場合は、項目番号に斜線を引き、評価欄は無記入とする。

## 《聞き方チェックシート》

話すこと・聞くことの学習の時には、「聞き方チェックシート」を活用して、聞く時のポイントを明確にしてから学習に入るといいですね。

### 《聞き方チェックシート》

- ①あいづちを打ったり、うなずいたりして聞く。
- ②大事なことを落とさないように聞く。
- ③自分の体験などと結びつけて聞く。
- ④自分の意見と比べながら聞く。
- ⑤話し手の意図を考えながら聞く。
- ⑥感想や質問を言う。

《聞き方チェックシート》の使用場面（例）

朝の会のスピーチ・全校集会のお話・学習発表会・掃除反省会などで

## 《学習用語をおさえた学習》

子どもたちが獲得してきた学習用語を繰り返し確認し、授業で使って定着を図りましょう。授業で学んだ読み方を、並行読書でも活用することで一般化につながります。国語科では言葉の獲得が重要になりますが、その活動は、他教科でも必ず必要になってきます。国語科で育んだ力を実生活で生きて働くものにするために、他教科や総合的な学習の時間、学校行事など様々な場面において言語活動を充実させましょう。

- ★教材に関連した表やグラフ、新聞記事等多様なテキストを用いて、自分の知識やテキストを用いて、自分の知識や経験と結び付けて考えをまとめる活動を取り入れましょう。
- ★収集した情報を取捨選択してまとめたり、資料を効果的に提示しながら説得力のある説明をしたりする活動を全教科で取り入れましょう。